

2021年(令和3年)7月6日 火曜日

(25) 徳島総合



新型コロナウイルスのワクチン接種を行う  
 歯科医師(左)＝徳島市の徳島大蔵本キャンパス

# 「打ち手」歯科医師登場

## 徳大、県内初 職員や学生対象

徳島大は5日、新型コロナウイルスワクチン接種の大学拠点接種を実施している徳島市の蔵本キャンパスで、歯科医師による接種を始めた。県歯科医師会などによると、県内では初めて。

ワクチンの打ち手不足を解消するため、厚生労働省は被接種者の同意など条件

付きで歯科医師の接種を認めている。筋肉注射などの研修を受けた、大学病院の歯科医師や歯科医師免許を持つ歯学部教員計61人が実施する。

この日は、歯学部の教員2人が大学病院の医師や看護師3人と協力し、徳島大の職員と学生計340人、

鳴門教育大の職員と学生計50人に注射した。歯学部6年の橋本史華さん(24)は「事前に研修を受けたと聞いていたので安心して受けられた」。大学病院の湯本浩通副院長(歯科担当)は「同じ医療人として、医師と看護師の負担を少なくするために協力したいと考えた」と話した。

新型コロナウイルスは国の供給不足から接種日程を変更する自治体が相次いでいる。徳島大によると、学生や教職員の希望者約8千人分と鳴門教育大の約1200人分は現在のところ予定通り入手できる見通し。

(青木忍)